

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	新型コロナウイルスの影響で困窮した市民に食糧を届ける高校生など学生によるMUGむぐプロジェクト(まーさん、うちなーごはん)
2 事業実施期間	2020年 7月 ~ 2021年 2月
3 事業目的	<p>①事業計画に至る背景(コロナ禍における現状と課題)</p> <p>新型コロナウイルスのパンデミックによる未曾有の影響により沖縄県全体、那覇市の経済停滞がはなはだしく、事業所の休業・廃業が相次ぎ、多数の失業者が生まれ、彼等に対する緊急の支援が急務である。</p> <p>②事業を行う必要性(ニーズ)</p> <p>上記の状況下で食糧調達が困難になっている一人親世帯や生活に困っている家庭とその子ども達や学生が県内で急増し、その数と深刻さは日増しに悪化している。</p> <p>しかし、その支援を恒常的に行う食糧収集の仕組みが不完全である。</p> <p>③市民や地域の公益性(社会貢献度)</p> <p>a) 新型コロナウイルスの影響で職を失ったり、所得が減ったりした那覇市に在住の困窮世帯や、勤労学生・留学生に食糧が提供されることで一時的にでも改善される。</p> <p>b) 食糧寄付を集める仕組みを作ることで恒常的に食料が集まり、困窮世帯に提供される。</p> <p>c) 家庭にある余剰食糧も活用することで、食品ロスを減らし、環境にも好影響を与える。</p> <p>d) 多くの学校の生徒・学生が結びつくことで各地における社会貢献事業が実施される。</p>

<p>4 事業内容</p>	<p>①具体的な実施内容（対象者や実施場所、何をいつ実施したかなど） 那覇市民及び他市町村に住む方を対象に、ショッピングモールや那覇市の施設など、人が集まる場所で、フードドライブである、MUG むぐフードプロジェクト（以下フードドライブ）を行った。令和2年5月・7月・11月・12月・令和3年2月に行ってきた。</p> <p>②事業の周知方法 ポスターを作成し、開催場所のショッピングモールや地域の施設に掲示。県内マスコミへの情報提供。SNSの活用。</p> <p>③コロナウィルス感染症対策（感染拡大防止に対する対応） ボランティア参加者及び食料を寄付しに来る方はマスク・手袋を着用し、距離をとる。寄付していただいた食料品は外側を消毒。</p> <p>④食糧寄付、贈呈 フードドライブで寄付していただいた食糧品・日用品などを、困窮世帯に食糧支援を行っている個人や団体に寄付、贈呈。</p>
<p>5 事業効果・今後の展開</p>	<p>①期待される効果</p> <p>a) 市民から集めた食糧寄付が困窮世帯や勤労学生・留学生に配布されることで、彼等の生活が改善されることが期待される。</p> <p>b) 食糧収集の仕組みが確立されることで、食糧支援が受けやすくなる。</p> <p>c) 市民による助け合いの精神・ゆいまーるが再認識されることで市民による共助の輪が広がる。</p> <p>d) 高校生・大学生に社会貢献の場が提供され、将来的に維持される。</p> <p>②次年度以降の展開について 今年度の活動でつながってきた地域や企業、支援団体とのつながりを維持し、活動をこれからも実施していく。およそ2か月に1回程度で今まで同様の活動を行う。学生ボランティアを募集し、活動のノウハウを教え、さらに活動の輪を広げていく。 資金面では、最低限度のコストで維持できるような持続性を持たせるようにする。</p>

6 その他反省点など	<p>新型コロナウイルスの感染が拡大し、思うように活動ができない時期があった。感染が拡大しているときこそ、困窮世帯が苦しむ時期であるのに、食糧収集ができなかった。これからも感染状況に左右されることは予想されるので、対応が必要となる。</p> <p>食料の仕分け・消毒など、人手が必要であるが、人は密集してはならない状況である。そのジレンマをどう解消するか。</p> <p>フードドライブを行っていない間も、食糧を必要とする人はいる。行っていない間の食糧支援をどうするか。</p> <p>2月中旬にセミナー開催を予定していたが、沖縄県で緊急事態宣言が発令・延長により、中止とした。</p> <p>広告料として、のぼり、バナーに加え、フラッグを作成。</p>	
7 スケジュール (なるべく詳細に記入してください。)	時期	内容(場所・参加対象・人数など)
	7月16日	サンエー那覇メインプレイスにてサンエー及び新都心通り会に挨拶・打ち合せ(平敷、島袋、平敷成美、田中)
	7月25日	サンエー那覇メインプレイスにて第4回目(本助成金においては初回)のフードドライブを実施 (平敷、平敷成美、村中、屋嘉部、田中、上原、社協、他ボランティア)
	9月21日	コロナが落ち着いたところ、南風原での開催に向け村中先生とのアポイントメントが取れる(上原)
	9月26日	イオン那覇店にて次回フードドライブ(南風原)に向け企画会議(屋嘉部、平敷成美、村中、大浅田、上原)
	10月6日	のぼり見積もり依頼(平敷)
	10月9日	イオン南風原店に挨拶・顔合わせ (屋嘉部、大浅田、田中、平敷成美、上原)
	10月12日	趣意書作成(大浅田) 南風原町役場こども課・社会福祉協議会へ挨拶・打ち合せ(上原、大浅田)
	10月23日	のぼりデザイン打ち合せ・校正作業(平敷成美、屋嘉部)
	10月27日	南風原町役場こども課・社協・南風原かすりライオンズクラブへポスター持参と調整(上原、大浅田)
	10月30日	のぼり受け取り(平敷成美) 南風原町長・副町長表敬訪問(上原、大浅田、平敷成美)
	11月2日	那覇市社会福祉協議会へフードドライブ用物品の受け取り(平敷成美)
	11月3日	イオン南風原店において第5回(本助成金では第2回)のフードドライブを実施(平敷、屋嘉部、村中、平敷成美、大浅田、田中、上原、他学生ボランティア、社協)
	11月5日	なは市民協働プラザにて年越しフードドライブについて検討会

	(田中、平敷成美、上原、協働推進課、協働によるまちづくり推進協議会)
11月6日	年越しフードドライブ趣意書提示(田中)
11月15日	なは市民協働プラザにて年越しフードドライブの打ち合わせ (平敷、屋嘉部、村中、上原、大浅田、田中、平敷成美、協働推進課 他)
11月18日	映像作成用の手順書作成・提案(田中)
11月19日	日本郵便(県内)協力依頼済みの報告(田中) ※後日、お断りの回答 FMレキオ番組出演の調整済みの報告(田中)
11月27日	なは市民協働プラザにて年越しフードドライブの打ち合わせ (平敷、屋嘉部、上原、平敷成美、協働推進課)
11月28日	よぎトックリキワタまつり フードドライブボランティア参加 (平敷、屋嘉部、平敷成美)
11月28日	プレスリリース書類作成済み報告(田中)
12月11日	本庁管内自治会長会定例会にてフードドライブの告知(屋嘉部、上原) 年越しフードドライブの打ち合わせ(平敷成美、上原、協働推進課)
12月14日	民児協の会議にてフードドライブの告知(屋嘉部)
12月17日	傷害保険契約(上原)
12月19日	なは市民協働プラザにて第6回(本助成金では第3回)となる年越しフードドライブを実施(平敷、屋嘉部、平敷成美、村中、上原、大浅田、他ボランティア多数) 2000食余りの食糧支援をいただく
1月24日	なは市民協働プラザにて今までの活動の振り返り、今後に向けての話し合い(平敷、屋嘉部、平敷成美、村中、上原)
2月11日	横断幕、フラッグ、ロゴ作成について話し合い (平敷、屋嘉部、上原、協働大使・玉城)
2月15日	協働プラザでの実施に向け、協働推進課との打ち合わせ(平敷)
2月17日	傷害保険契約(平敷)
2月19日	イオン那覇店にて横断幕等受け取り(大浅田、平敷成美)
2月21日	西原町、さわふじマルシェにて第7回(本助成金では第4回)フードドライブを実施(平敷、島袋、平敷成美、大浅田、上原 他学生ボランティア・サポーター多数) 600食余りの寄付を頂く
2月23日	なは市民協働プラザにて第8回(本助成金では第5回)フードドライブを実施(平敷、屋嘉部、平敷成美、村中、大浅田 他ボランティア多数) 2000食余りの寄付を頂く
3月6日	【報告書提出】なは市民活動支援センターへ提出
3月	【成果発表会】なは市民活動支援センターにて 人参加予定

8. 事業実施に関する支援団体の有無（該当する箇所に☑等を記入してください。）

行政との協働

企画に協力

資金提供

告知などの協力

無し

協働の内容

- ・各地域で開催するにあたり、それぞれの社会福祉協議会や行政、団体等を通して周知や当日の応援、食糧提供などの協力が得られた。
- ・企業（店舗等）からは、活動に必要な場所の提供、会場設営の協力、資材（段ボールなど）の提供、ボランティア参加者には軽食の寄贈など、全面的に協力いただいた。
- ・協働によるまちづくり推進協議会では企画の段階から加わっていただき、協働大使へ周知、食糧の事前受付、物品の借用、当日のボランティアなどに協力していただいた。
- ・なは市民活動支援センター・まちづくり協働推進課の職員の方々には、事業を実施する上で何度も相談にのっていただき、当日のボランティアも含め、応援していただいた。